

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.2.1

若者が行きたくなる “竹鼻まちなか”散策コースを考えよう!

2月1日(水)に、「若者が行きたくなる“竹鼻まちなか”散策コースを考えよう!」をテーマに、羽島市消防庁舎を会場に第9回ふふフューチャーセンターを開催しました。今回は、岐阜大学生7人、若手の羽島市職員10人、大学教職員4人の合計21人が参加しました。

羽島市の中心部・竹鼻地区には、数多くの寺社仏閣等の魅力ある資源があり、かつては多くの人で賑わいを見せたが、現在は人通りもなく閑散としています。今回のフューチャーセンターでは、若者が行きたくなる魅力的な散策コースの設定や仕掛けづくりを検討し、まちなかの賑わいづくりに繋げることを目的に開催しました。

今回のフューチャーセンターで、参加者は、グループに分かれ実際に竹鼻のまちなかを散策した後に、グループワークに取り組みました。グループワークでは、散策で各自撮影した写真を見せ合い魅力について意見を出し合いながら、コンセプトを設定した新たな散策コースと工夫・仕掛けを提案しました。今回出された意見やアイデアの中で実施可能な提案については、4月下旬に竹鼻まちなかで開催されるふじまつりの際に、試験的な取り組みの参考にされることが期待されます。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

- 恋愛成就コース
- RETROなまちなみ セピアをさがす
- 竹鼻さんぽ
～時代を勘違いしてみませんか?～
- 竹(たけ)ちゃん、はなちゃん
ご当地グルメぐり!

地元の違った一面を見ることができた

岐阜大学地域科学部1年
道下 裕奈 さん

羽島が地元なのですが、お祭りの時以外にまちなかを歩くことがなかったので、今回地元の違った一面を見ることができて、散策で見つけたお店に買いに行きたいと思いました。色んな年代の人たちと話すことができてとても楽しかったので、これからもフューチャーセンターに参加したいと思いました。



若者のパワフルな意見に驚いた

羽島市保険年金課
神谷 信龍 さん

若者のパワフルな意見に驚かされました。皆でじっくりと話し合い結論を出すことが新鮮な体験で楽しかったです。人を集めるための学生の意見が聞けて良かったです。今後は、竹鼻のまちをただ歩くだけでなく、一歩踏み込んでアクションを起こしてみたいです。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3168
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-3167
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人
岐阜大学



文部科学省
地(知)の拠点